



二十六聖人

令和3年1月号

(令和2年12月27日発行)

教会だより

2021. 1 No. 332

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296
<http://www.futamatagawa-cc.com/>
主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

愛がなければ

新型コロナウイルス感染症のせいで悪夢のような2020年でしたが、まだ、先が見えない状況は続いている現実です。「明けまして、おめでとうございます。」という挨拶の言葉がふさわしくないという気持ちもありますが、新しい年を迎えて、愛する二俣川教会の信者の皆さんに神様の無限な愛と慈しみ、また豊かな恵みが注がれるよう、お祈りいたします。併せて、今年も神様が私たちを導かれて、私たちがこの病気の中でも勇気を得て、それぞれの現場でイエス・キリストの愛を証しすることができるようにしてくださいるようにもお願いいたします。

ようやく、私は来日してから5年目、また、二俣川教会に赴任してからは4年目の年を迎えました。神様にはもちろん、信者の皆さんに感謝しており、これからも色々よろしくお願い申し上げます。ところで、2016年11月30日はわたしにとって忘れられない日であります。なぜなら、その日、私は初めて日本語のミサの主司式や説教を行った日だったからです。何と素晴らしいことでしょう。でも、それは日本語が少しできるようになったという意味ではなく、日本語で神様について話すことができたということです。思いもかけなかった日本での生活が始まり、神様のことやイエス様のこと、つまり、愛の福音を日本語で話し始められたのは、司祭としてとても意味深い体験に違いありません。それはわたしが今まで何について思い、また話していたのかについて深く反省するようにしてくれました。神様とイエス様の愛について考え、話し、また、行うことは当然なことでしたが、私はそれらのことを軽んじてきたことに、改めて気づいています。そして、これからは司祭としてもっと誠実に生きたいと思います。

そういう個人的な反省と共に、わたしは昨年からの新型コロナウイルス感染症が、全人類にいろいろなことを考えさせているのだとも思います。全ての人がマスクをかけて、できるだけ小さな声で話さねばならない現実、今まで皆がどれほど愚かに生きてきたのかを考えるように促しています。愛や平和、慈しみや憐れみ、助けや励ましなどの良い言葉と行いの代わりに、戦争や憎しみ、誹謗や中傷、脅かしなどの乱暴で暴力的な言葉と行いがはびこって来たに違いありません。国と国がそうだったし、多くの場合個人と個人もそういった風潮の中で、人間としての真の様子を失ってしまったと思います。それに気づかなければ、いかに優れた薬やワクチンが開発されても、人類の苦しみや涙は止まらないでしょう。

さて、1月25日は使徒パウロの回心の祝日です。その時代、パウロは知識においても国籍においても、また職業においても、とても優秀な人物でした。しかし、イエス様に出会ってからは、自分のすべてを捨てて、イエス様の愛だけに従う人となりました。きっと、パウロ自身も自分がそれほど愛について証しするとは思ってもよらなかったでしょう。そのパウロがコリントの教会に送った第一の手紙の13章には、皆がよく知っている「愛の賛歌」が書いてあります。その長い賛歌を一言で纏めることは無理ですが、紙面の事情上、私はそれを次のように纏めたいと思います。それは「愛がなければ、私など何でもない。」ということです。愛がなければ生きていても、それは死んだことに相違ないでしょう。この新しい年を迎えて、私は勿論、皆が愛に生きることができるよう、神様の導きと助けを祈り求めたいと思います。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

2020 年 12 月教会委員会報告

【司祭】

今、私達は待降節を過ごしていますが、イエス様の誕生を私達がどうすれば準備出来るかという事を考えながら過ごしたら良いと思います。降誕祭に向けての「黙想会」や「ゆるしの秘跡」が行われないので、個人的な準備に任されますが、私からは、降誕祭の福音を毎日読むこと、そして 5 分と言う短い時間でも良いので黙想する事を勧めます。

また、これからは前向きな姿勢で、コロナ感染症対策を徹底しながら、団体や委員会の活動を再開出来る様に工夫して行く時期だと思います。今、行っているコロナ感染症対策は、感染拡大を防ぐためだけのものではなく、愛を回復し、その愛を保つための事で、今はこれを私たちの使命だと気づく必要があります。大切な事は私達が学んだ愛を保ち強める事なので、信者の皆さんのご協力をお願いいたします。

1. 信徒集会に関して

◇2021 年 2 月 28 日（日）に信徒集会を開催します。

・コロナ禍、聖堂での参加人数が 80 名以内と限られるために、開催方法を検討中です。

* 以下の 4 案を検討中ですが、良案・良策がありましたら教会委員会へご提案下さい。

① 80 名以内の参加方法を検討する。

② 開催前 1 ヶ月間、意見箱を設置し皆様からの意見の共有を図り検討及び回答を行う。

③ リモート参加が可能かを検討する。

④ 信徒集会を録画し 1 ヶ月間、HP に掲載する。

2. 経費支出のルールに関して

◇2 万円以上の支出に関しては事前申請が必要です。

* 事前申請のない支出は、支払いが出来ない場合がありますのでご注意下さい。

3. 集会室利用に関して

◇集会室は 2021 年 2 月 14 日までは原則利用出来ません。

* コロナ感染症の状況を見ながら、四旬節が始まる前には方向性を提示致します。

【各委員会報告】

(典礼委員会)：水曜日と平日に行われる祭日ミサは、朗読・先唱・香部屋の奉仕を行います

12 月は典礼委員が声かけをしますが、1 月より当番を決る事とし口ビ－に掲示致します。

(教会学校)：11 月 22 日（日）に 5 名の子どもたちが初聖体のおめぐみをいただきました。

初聖体を受けた子供たちがミサに与えるようお祈り下さい。

(共同墓地委員会)：11 月 3 日(祝：火)に千葉神父様（磯子教会主任司祭）と姜神父様の共同司式にて四教会（二俣川、磯子、保土ヶ谷、港南）の合同追悼ミサが上大岡共同墓地で執り行われました。

* 11 月 5 日から二俣川青年会の YouTube チャンネルを借りて 2 週間動画配信が行われました。ご遺族に事前に URL をご連絡しており、最終の再生回数は 69 回でした。

(マリア会)：AOS の帽子を編む会は、9 月 27 日に AOS が 100 周年を迎え名称を「ステラマリス」と改名されましたので、マリア会帽子を編む会も「ステラマリス帽子を編む会」とします。集っての活動は自粛しましたが、自宅での個人活動により、53 組のプレゼントを作り、12 月 5 日に「ステラマリス本部」（於：末吉町教会）へ持参しました。

月間スケジュール

2020年5月24日～2021年5月24日 「ラウダート・シ年間」

主日ミサ： 土曜日 17:00 日曜日 9:00, 11:00

当面の間は原則として所属地区ごとのミサに参加してください。

四旬節以降のミサや対策等は追ってご連絡いたします。

週日ミサ： 水曜日 10:00

主日以外の祭日： 10:00

1月

日	曜	典礼暦と祈願日など		行事・委員会など
1	金	神の母聖マリア(祭)	世界平和の日	
3	日	主の公現(祭)		
10	日	主の洗礼(祝)		教会委員会
17	日	年間第2主日	キリスト教一致祈祷週間 (18日～25日)	
24	日	年間第3主日 神のことばの主日		14:00～教会学校と青年のミサ (ミサの中で新成人のお祝い)
31	日	年間第4主日	世界こども助け合いの日 (献金)	「二十六聖人」2月号発行

2月

日	曜	典礼暦と祈願日など		行事・委員会など
2	火	主の奉献(祝)		
5	金	日本二十六聖人殉教者(祝)		
7	日	年間第5主日	2/11 世界病者の日	教会委員会
14	日	年間第6主日		
17	水	灰の水曜日【四旬節】		
21	日	四旬節第1主日	四旬節愛の献金 (四旬節中)	14:00～教会学校と青年のミサ
28	日	四旬節第2主日		信徒集会



マリア会通信 No. 111

主のご降誕をお喜び申し上げます。皆さまと集うことのできない日々が続いておりますが、お元気でクリスマスをお迎えのことと思います。

さて毎年1月中に開催しております「マリア会総会」につきましては、コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、**開催を見合わせる事といたします**。マリア会役員に関しましては2年任期との会則に従い、継続して奉仕させていただきます。マリア会へのご意見やご希望等ございましたら、司祭執務室横にありますマリア会ポストへ投函をお願いいたします。

「ステラマリス（旧AOS）帽子を編む会」につきましては、先月号でご報告しましたように、船員さんへの贈り物として年末に53個の帽子とプレゼントをラッピングして、事務局へお届けすることができました。その後、さらに16個の帽子の献品をいただきましたので、追加で事務局へお届けしましたことをご報告します。帽子を編んでくださいました方、毛糸の献品を下さいました方、プレゼントをセットする為にタオル・石鹸・日本的な小物等をお持ちいただきました方へ感謝申し上げます。

これからも引き続き司祭執務室横にかごを設置しておきますので、毛糸・タオル・石鹸・日本的な小物等のご協力をいただけますと幸いです。（毛糸はウール100%もしくはウール混、毛糸の太さ・色は問いません。）また、設置のかごに帽子製作用毛糸と編み図を入れておきますので、帽子を編んでいただけますと大変助かります。

いつもマリア会の活動にお心をよせていただきまして本当にありがとうございます。新しい年が皆さまにとってよい年になりますようお祈りいたします。

マリア会 H. I.



「今週のお知らせ」でもお願いいたしておりますように、皆様の受洗について思い起こすことで、コロナ禍での困難な生活の様々な思いを『二十六聖人』を通して共有したいと企画しております。皆様のお声をどうぞお聞かせください。

☆広報メールでつぶやいて！ [koho-new \(アットマーク\) futamatagawa-cc.com](mailto:koho-new@futamatagawa-cc.com)

（アットマークは@の意味です）

・ 題名：「受洗についての思い出」600字程度

・ 締切：2021年1月22日（金）

手書き原稿は教会事務所にお届け願います。

【編集後記】

2020年、『二十六聖人』は神父様の巻頭言に支えられ、5月号を除き、毎月発行いたしましたが、教会委員会報告等をお伝えするに留まりました。『世の光』は発行に関わって以来、初めて発行することが出来ませんでした。来る2021年は、2020年3月までのように、教会行事、共同体活動等を共有し、喜びと希望に満ち溢れた『二十六聖人』と『世の光』を発行出来るよう神様にお祈りいたします。（S.M. 記）